

平和憲法・9条をまもる 岩手の会 ニュース No.166

2019. 8. 5
発行：平和憲法・9条をまもる
岩手の会 実務者会議
連絡先 県生協連・県消団連
TEL 019-684-2225
FAX 019-684-2227

平和への願い
みんなで語り継ごう

今年で、日本は戦後74年の夏を迎えます。戦争によって世界中の人々の命を奪い、そして日本のたくさんの方々の命も奪われました。その中には、何の罪のない多くの市民、子どもたちも。その悲しみの上に「二度と戦争しない」と誓った憲法9条は守らなければいけません。各地域では、平和な未来を残そうと、あらためて戦争体験や沖縄の現状を聞き、戦争の悲惨さと平和の大切さを語り継いでいます。

“平和こそ宝”人々に平和を守る心を伝えていきたい

—「中津川九条をまもる」会14周年のつどい開催—

今回は、「戦争体験を語り継ぐ会」と銘打ち、6月28日に28人の参加で開催しました。

2005年～2006年に「中津川九条をまもる」会のメンバーが九条署名を集めようと地域を訪問した際に、訪問先の方々からお聞きした戦争体験（当時80代～90代）記録したものから、今回は4名の方の証言を自分なりのコメントを足して4名で朗読。東京大空襲や仙台大空襲の話、盛岡市太田出身の方の体験などを共有し、参加者全員で戦争の悲惨な実態と平和の大切さを強烈に感じました。



その後、3名の方からご自身の戦争体験も話してもらいました。身近な方からの話が出たことで、会場からもたくさんの方がご家族、ご自身の戦争当時を振り返って発言してくれました。今回は初めて参加したという方からは、「みなさんの貴重なお話を聞き、とても勉強になった」という感想や、「戦争体験記録をよく残していたなと感心した。今は亡き人を思い出し…平和のありがたさをつくづく感じた」「子どもたちが平和の学習をしようとも、戦争経験をした親はいないし体験した祖父母も少なくなってきた。平和な世の中になるよう、今日の話子どもたちに伝えていきたい」などの声が出されました。

みなさんの感想を聞き、「中津川九条をまもる」会で続けてきた草の根の活動が実った記念行事だったな、と思えた一日となりました。（本多多津子）



広めよう！「安倍9条改憲NO！憲法をいかに全国統一署名」 岩手の3,000万署名数は17万6千筆（7月末現在）

署名ハガキの返信は、400通・1,220筆分を超えました！

お知らせ

映画「あの日のオルガン」盛岡上映会

10月4日（金）～11月7日（木）盛岡ルミエール 前売1,100円

（上映時間は週によって変更になります。事前に劇場にお問い合わせください）

太平洋戦争末期、保育園ごと集団疎開し東京大空襲の戦火を逃れた実話を映画化。託された命を必死で守り抜こうとする保母たちだが、疎開先にも徐々に戦争の影が迫る…。

出演：戸田恵梨香、大原櫻子、田中直樹、橋爪功ほか。

※前売券がほしい方は、岩手県生協連までご連絡ください。



沖縄と憲法9条に思いを寄せ、みんなで語りあいました

—「平和憲法・9条を守る都南の会」14周年のつどい—



6月8日に、42人の参加で開催。第1部は、「三線の演奏と語り」と題し、沖縄に20回以上行っている沖縄大好き人間の「みつ」さんが、安里屋ユンタ、十九の春、涙そうそうなど5曲を演奏したり、戦後74年たっても変わらない沖縄の現状を語ってくれました。澄み切った沖縄の海と戦争の悲しみの深さを思わせるような歌声と語りに、参加者全員感動の渦に包まれました。

第2部は、総会と都南9条の会代表世話人の田口宗一さんによる講演「憲法9条と私」を開催。核戦争になりかねない現代の戦争の恐ろしさの説明

や、宮沢賢治「雨ニモ負ケズ」の詩から引用し「…そういうもの（平和をつくりだすもの）に私はなりたい」と話されました。

また、情報を知る上でよく見ている新聞投書欄を見て、憲法についてこんなに国民が読んだり考えたりしたことはなかったと感じていることや、憲法前文にある「われらは、いつれの国家も、自国のことのみを専念して他国を無視してはならない」という言葉は、外交の姿勢として最も大切だと訴えました。（伊藤稲子）



👉 来年は2020東京オリンピックの年！唯一心配なこと？

先日IOCの「2020東京オリンピック」の準備会議が開催され、準備は万端であることが確認されたとのことは喜ばしいことだと思います。同バツハ会長も喜んでいました。

ただ一つ心配なことがあります。それは開会式で朝鮮半島から「南北統一チーム」が「統一旗」を掲げて入場して来た時に、日本国民は万雷の拍手をもって歓迎できるかということです。

北朝鮮から信頼を得られず、日朝首脳会談の開催もままならない状況下にある時に、日本が韓国に対し、半導体材料の対韓輸出管理規制を強化したために、日韓関係が最悪を状態になっていることです。これでは日本は朝鮮半島の南北に対して善隣関係にない状況です。何はともあれ隣国とは少なくとも「善隣関係」は保持すべきものだと思います。それが戦争のない「平和な国際関係」。

今、日本国民は朝鮮半島の南北にたいして良い国民感情を持てているのでしょうか。日本の国の首脳の外交所の立ち居振る舞いが、「悪い外交」になっていないのでしょうか。日本の報道番組ではキャスターもコメンテーターも韓国、北朝鮮が悪いとバッシングしていないのでしょうか。

「日朝平壤宣言」は、「正しい歴史認識」に立ったものだと思います。これを実行する立場を日本の首脳が表明すれば、北朝鮮側から信頼が得られるのではないのでしょうか。「慰安婦問題」も「元徴用工問題」も、日本の首脳が「正しい歴史認識」に立って事に当たれば、ことは前進するものだと思います。「植民地宗主国」然として上から目線でことにあたるから、韓国からも北朝鮮からも「批判」「反論」されていると思います。

「正しい歴史認識」に立った「日本国民の国民世論」で首脳・安倍首相の外交姿勢を正すために、悪い「国民感情」の方に煽られるのではなく、大きな「声」を上げ続ける必要があると思います。

そして「2020東京オリンピック」の開会式で朝鮮半島の「南北統一チーム」が「統一旗」を掲げて入場して来た時には、日本国民は万雷の拍手を持って迎えましょう。朝鮮半島での「平和のプロセス」に資することになります。(T)

《8月の署名活動》 9日(金)12:30~13:00 盛岡市大通・野村證券前

安倍政権下での改憲に多くの国民が反対の声を上げている中、安倍首相は改憲論議を進めようとしています。引き続き3,000万署名を呼びかけますので、お誘い合わせの上、ぜひご参加ください。